

## 緊急対策ソリューション

クマの出没をリアルタイム検知。  
人命を守る、AIの「目」。

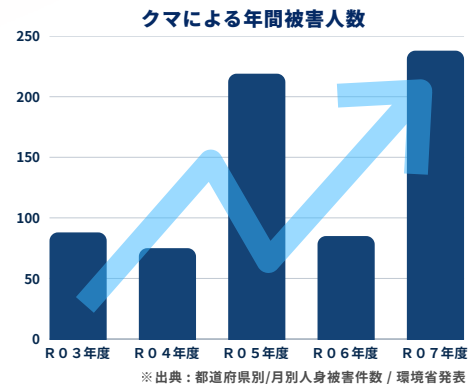
映像分析AI「MirAI-X」が24時間365日、自動で監視・警報



MirAI  
experience

## 日本全国で深刻化する クマ被害—もはや他人事ではない

近年、クマの出没が深刻な社会問題となっています。  
2025年度の人的被害は230名を超え、統計開始以来「過去最悪」を更新しました。政府も捕獲目標を設定する新対策に乗り出していますが、暖冬や餌不足の影響で冬眠しない個体や市街地への進出が常態化しています。



## AIとテクノロジーで「見えない脅威」を可視化するクマ対策ソリューション

01

### 独自のデータで AI性能向上

日本のクマに適した独自のデータを利用しAIを学習、日本のクマ検知に最適なAIを提供します。

02

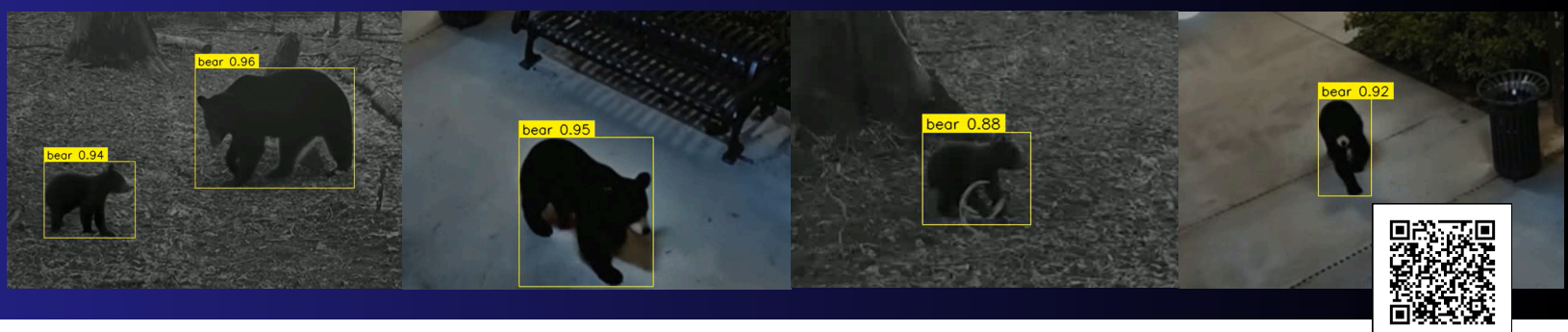
### IR映像にも 対応


山奥など、照度の低い暗い場所での危険を対応すべく、IR映像での分析機能も実装しています。

03

### 低コスト導入を 実現

AI分析用カメラとPC1台で低コストで効率的運用が可能です。お客様のコスト節約を実現します。





MirAI-Xは、既存の防犯カメラや新設のAIカメラを活用し、  
24時間365日、AIが「クマ」をリアルタイムで特定。  
人身被害を未然に防ぐための「早期警報ソリューション」です。



## なぜ今、映像AIによるクマ監視なのか？

### 過去最悪の被害、市街地でも遭遇の危険

2025年のクマによる人的被害は230名超と過去最多を更新。  
秋田・岩手・福島など山間部にとどまらず、市街地・住宅街での遭遇事例が増えています。

### 「指定管理鳥獣」指定で行政対応が急務に

令和6年4月、環境省がクマ類を「指定管理鳥獣」に追加指定。  
都道府県・市町村による積極的な管理体制の整備が法令上求められ、監視インフラの整備は優先課題

### データ蓄積で「予測」と「効率化」を実現

クマ検知した日時を記録しデータ化。  
「どの時間帯に、どのルートを通るか」を可視化することで、重点的な対応活動を効率化できます。

## MirAI-X



### MirAI-X(ミライエックス)熊検知

本製品は、数年前より継続して蓄積・学習してきた動物の映像データをもとに、高精度な検知を実現した映像AIシステムです。  
2025年より販売しているWindows PC向け映像AIパッケージソフト「MIRAI-X」をベースに開発したもので、監視カメラ映像から熊を検知し通知します。  
PC一台で最大30台のカメラ対応が可能。  
通知は、パトライト、SNS（スマホアプリ）、Eメールに加え、追い払いのための音響システムなどの連動も可能です。

### システム構成図

